# 清宮サヨナラMVP弾

## 全パ勝利

プロ野球の「マイナビオールスターゲーム2022」は26日、ペイペイドームで第1戦が行われ、全パが清宮（日本ハム）の1986年第3戦での全セの吉村（巨人）以来、史上7人目となるサヨナラ本塁打で3―2で勝ち、通算成績を87勝80敗11分けとした。最優秀選手（MVP）には清宮が初出場で選ばれた。

全パは0―2の二回に4番山川（西武）のソロ、六回に宗（オリックス）の適時打で追い付いた。三回以降は継投で追加点を許さなかった。新型コロナウイルス感染などにより辞退者が相次いだ中、3年ぶりに観客制限なしで開催された。

第2戦は27日に松山市の松山中央公園野球場で行われ、全セは床田（広島）、全パは佐々木朗（ロッテ）が先発する。

マイナビ ALL STAR GAME 2022

㊙第1戦

全パ―全セ第1戦（全パ1勝、19時05分、ペイペイドーム、35534人）

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全セ | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 全パ | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 |

▽勝　松井裕1試合1勝
▽敗　森下1試合1敗
▽本塁打　ビシエド1号①（山岡）山川1号①（青柳）清宮1号①（森下）

㊙…全パがサヨナラ勝ち。2―2の九回2死で清宮が森下からソロを放ち勝負を決めた。0―2の二回に山川のソロ、六回に宗の適時打で追い付く。三回以降は則本、平良、益田、松井裕ら7投手が好投した。

全セは一回に牧の犠飛で先制し、二回にビシエドがソロを放ったが、五回以降は走者を一人も出せなかった。

9回全パ2死、清宮が左中間にサヨナラ本塁打を放つ＝ペイペイドーム

### 戸郷、躍動感あふれる投球

巨人の戸郷が2度目の球宴で躍動感あふれる投球を披露した。三回に2番手で登板し、2回を2安打無失点で2三振を奪った。「球宴のマウンドは楽しかった」と気持ちよさそうに汗をぬぐった。

2―1の三回1死で三塁手村上（ヤクルト）の悪送球で走者を背負ったが、慌てない。柳田（ソフトバンク）を二ゴロに、交流戦で本塁打を浴びた浅村（楽天）は落ちる球で空振り三振に仕留めた。四回1死一、三塁のピンチでも冷静に後続を断ち「初めは直球勝負でいこうと思っていたが、この打線は抑えられないと思って切り替えた」とうなずいた。

巨人に新型コロナウイルス感染者が相次ぎ、菅野や岡本和、丸ら辞退する選手が続出し、球宴出場者が3人に減った中で存在感を示した。

【全セ】

| | 打 | 安 | 点 | 本 | 打率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 見本一（ヤ） | 4 | 1 | 0 | 0 | .250 |
| 田上（神） | 2 | 0 | 0 | 0 | .667 |
| 園田（D） | 0 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| 輝（ヤ） | 1 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| 山口（ヤ） | 1 | 1 | 0 | 0 | .000 |
| 工藤（広） | 2 | 2 | 0 | 0 | .000 |
| 倉（神） | 2 | 2 | 0 | 0 | .000 |
| 野（神） | 2 | 2 | 0 | 0 | .000 |
| 村（中） | 2 | 2 | 0 | 0 | .000 |
| 木下（広） | 2 | 2 | 0 | 0 | .000 |
| 林（D） | 1 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| 野（ヤ） | 2 | 1 | 0 | 0 | .000 |
| 岡（中） | 2 | 1 | 0 | 0 | .000 |
| 残（巨） | 3 | 2 | 0 | 0 | .000 |
| 併（神） | 1 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| 失 | 0 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| 盗 | 0 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| 犠 | 1 | 2 | 1 | 2 | .000 |
| | 31 | 5 | 2 | 2 | .161 |

【全パ】

| | 打 | 安 | 点 | 本 | 打率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 柳田（ソ） | 3 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| 島（楽） | 2 | 2 | 0 | 0 | .500 |
| 浅野（楽） | 1 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| 清（日） | 2 | 1 | 1 | 1 | .1000 |
| 吉田正（オ） | 2 | 1 | 1 | 0 | .500 |
| 6 | | | | | |
| 小深田（楽） | 1 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| 山田（西） | 1 | 0 | 1 | 1 | .500 |
| 森（西） | 4 | 3 | 1 | 0 | .333 |
| 川（ロ） | 1 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| 松（ソ） | 1 | 2 | 0 | 0 | .000 |
| グレシー（ロ） | 1 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| ラ（オ） | 4 | 1 | 1 | 0 | .250 |
| 宗（ソ） | 1 | 4 | 1 | 0 | .333 |
| 宮（ソ） | 3 | 1 | 0 | 0 | .000 |
| 今（ソ） | 4 | 0 | 0 | 0 | .000 |
| 牧原大（ソ） | | | | | |
| 高（ロ） | | | | | |
| 失 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 併 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 盗 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 犠 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 残 | 9 | | | | |
| | 34 | 9 | 3 | | .265 |

| 投 | 回 | 打 | 安 | 振 | 球 | 責 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 青戸（神） | 2 | 7 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| 高（巨） | 2 | 9 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 伊（ヤ） | 1 | 3 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| 湯（神） | 1 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 森（D） | 1 | 5 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 柳（広） | 1 | 7 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 郷（神） | 1 | 5 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 橋（中） | 1 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 勢（広） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 浅（D） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 下（ヤ） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 関（中） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 岡（巨） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 本（神） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 田（ヤ） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 野（ソ） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 良（オ） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 田（楽） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 中（西） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 木（西） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 小（ロ） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 平（ソ） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 益（楽） | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| モ | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 松 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | 9 | 54 | 14 | 11 | 1 | 1 |

## 初出場、ど派手なソロ　清宮

球宴初出場でど派手に決めた。日本ハムの清宮が2―2の九回2死から左翼ホームランテラス席に運ぶ。球宴史上36年ぶりのサヨナラ本塁打となり「入ると思わなかった。自分が一番、びっくり」と高揚感に満ちた表情だった。

途中出場で七回の第1打席は四球。九回は「めちゃくちゃホームランを狙っていた」という。森下（広島）の低めの154キロ速球を打ち返し「森下さんがずっと真っすぐを投げてくださったので、フルスイングで応えることができた」と力勝負の余韻に浸った。夢見心地でダイヤモンドを一周し、本塁付近でチームメートに手荒な祝福を受けた。

新庄新監督の下、前半戦だけで自己最多となる11本塁打を放ち、最後の1人を選ぶプラスワン投票で選出された。プロ5年目で飛躍のシーズンを迎え、また大きな勲章が加わった。新庄監督へのメッセージを問われると「やったぜ！」。若手が多く、明るいチームカラーがにじみ出た。

東京・早実高時代から大きな注目を浴びてきた。後半戦に弾みをつける一発に「最高の思い出ですね」と感慨深く言った。

## 高校野球地方大会

### 聖望学園（埼玉）が13年ぶり代表

第104回全国高校野球選手権大会の出場を懸けた地方大会は26日、各地で行われ、熊本では九州学院が秀岳館を6―0で破り、7年ぶり9度目の出場を決めた。香川は高松商が英明に6―4で勝ち、中止の第102回大会を挟んで3大会連続22度目の出場となる。

埼玉は聖望学園が13年ぶり4度目の出場。決勝では昨夏代表で今春の選抜大会ベスト4の浦和学院を1―0で破った。札幌大谷（南北海道）は初出場を決めた。

奈良では昨夏の甲子園で準優勝した智弁学園が準決勝で生駒に5―7で敗退。生駒は28日の決勝で天理と顔を合わせる。大阪は甲子園春夏連覇を目指す大阪桐蔭や、履正社などが8強入りした。

【南北海道】▽決勝（26日・札幌円山）
札幌大谷 003 001 102 7
知内 000 101 000 2
（札）森谷―佐々木（知）坂本、馬体―中田
▽本塁打　馬体（知）
（札幌大谷は初出場）
【宮城】▽準決勝
聖和学園 002 300 000 5
古川学園 000 000 000 0
仙台育英 不戦勝　仙台南
（仙台南は出場辞退のため）
【福島】▽準決勝
東日本国際大昌平 000 000 000 0
聖光学院 014 010 00×6
光南 100 000 000 1
田村 000 000 000 0
【埼玉】▽決勝（26日・大宮公園）
聖望学園 001 000 000 1
浦和学院 000 000 000 0
（聖）岡部―江口
（浦）宮城―高山
（聖望学園は13年ぶり4度目の出場）
【新潟】▽準決勝
帝京長岡 000 000 000 0
中越 000 000 000 0
（延長十一回）
日本文理 040 021 022 11
北越 000 400 110 6
【岐阜】▽準決勝
岐阜第一 000 000 001 1
県岐阜商 300 023 ×8
（七回規定によりコールドゲーム）
帝京大可児 200 001 126 6
中京 030 000 010 4
【福井】▽準決勝
敦賀気比 400 000 000 5
北陸 201 001 011 6
若狭 000 000 000 0
（七回規定によりコールドゲーム）
【広島】▽準決勝
盈進 020 030 000 5
近大広島高福山 000 000 000 0
広島商 000 010 000 1
尾道 310 000 00×4
【奈良】▽準決勝
天理 141 100 007
智弁学園 000 000 000 0
高田商 000 000 000 0
（七回規定によりコールドゲーム）
生駒 200 100 000 3
【島根】▽準決勝
開星 000 100 001 2
飯南 010 000 00×3
三刀屋 001 000 000 0
浜田 400 001 010 5
【山口】▽準決勝
宇部工 250 203 12
下松工 000 001 1
（六回規定によりコールドゲーム）
南陽工 200 000 012 3
下関国際 000 000 02×4
【徳島】▽準決勝
城東 000 000 0
鳴門 700 03×10
（五回規定によりコールドゲーム）
徳島商 010 010 002 2
鳴門渦潮 000 300 01×4
【香川】▽決勝（26日・香川県営レクザムスタジアム）
英明 000 030 010 4
高松商 000 300 10×6
（英）寒川、大筆―仁末（高）渡辺和―大坪
▽本塁打　浅野（高）
（高松商は中止の第102回大会を挟んで3大会連続22度目の出場）
【福岡】▽準決勝
小倉工 201 100 000 4
九州国際大付 001 032 30×9
【熊本】▽決勝（26日・リブワーク藤崎台）
九州学院 003 020 001 6
秀岳館 000 000 000 0
（九）直江―渡辺
（秀）山内、巨瀬―中園
（九州学院は7年ぶり9度目の出場）

# 世界フェンシング「銀」見延パリへ意欲

## ネクサスで報告

星野代表（中央）に今シーズンの結果を報告した見延（左から2人目）ら

カイロで開かれたフェンシングの世界選手権男子エペ個人で銀メダルを獲得した見延和靖（35）が26日、所属する高崎市のネクサス（星野敏代表）を訪れ、大会結果を報告した。エペで日本人で初めて表彰台に上った見延は「これまで（自身が）達成してきた史上初の中でも価値がある」と喜びを表現し、2年後のパリ五輪へ向けて「先駆者であり続けたい」と活躍を誓った。

見延は4選手で挑んだ男子エペ団体でも銅メダルを獲得した。星野代表は「歴史的な快挙、素晴らしい成績に感激している。パリ五輪が待ち遠しい。フェンシングがさらに注目されるよう引っ張っていって」と激励した。

昨年の東京五輪の男子エペ団体で金メダルに輝いていた見延は、パリ五輪では「個人でも取りたい」と強調し、個人、団体それぞれで頂点を目指す意気込みを語った。所属企業や本県の支援については「群馬は第二の古里。温かい応援を頂いているので、いいニュースを届けたい」と感謝した。

同社所属でフルーレの敷根崇裕（24）と永野雄大（23）、サーブルの星野剣斗（24）の3選手も、2021―22シーズンの結果を報告した。（真尾敦）

## サーブル、エペの強化結果

大会総括

### メダル四つ　一大会最多

23日にカイロで閉幕したフェンシングの世界選手権で日本勢は金1、銀1、銅2と計四つのメダルを獲得し、一大会最多の好成績を残した。サーブルとエペで強化が結実し、青木雄介監督は「日本フェンシングの歴史が大きく変わり、新たな時を迎えた」と強調した。

サーブルで活躍が際立ったのは、女子で23歳の江村美咲（立飛ホールディングス）。個人で頂点に立ち、3位に入った団体の主力としても獅子奮迅の働きだった。昨夏の東京五輪後に就任したフランス人コーチのグース氏の下で戦術の幅を広げ、多彩な攻めで今季のワールドカップで初優勝するなど一気に飛躍した。

エペは、男子で東京五輪金メダルのメンバーが健在ぶりを示した。個人銀メダルの見延和靖（ネクサス）は35歳のベテランらしく大一番に照準を合わせ、相手の出方を見て巧みに対応する円熟の技が光った。団体も加納虹輝（JAL）山田優（山一商事）を含めた経験豊富な選手が準決勝で敗れても立て直し、3位決定戦で底力を発揮した。

懸念材料は、日本が過去得意としてきたフルーレだ。今大会は男女とも団体4位。男子は剣で突く細かな技術の精度に上位国と差があり、女子は精神的なもろさも出た。

全体としては2024年パリ五輪へ向けて好発進した。来季は五輪へ向けた選考対象の大会が始まり、1試合1試合の厳しさが増す。再び好成績を残すためには、さらなる地力の向上が求められる。

## Dステ総合10位

### GTワールドチャレンジ

ファナテック・GTワールドチャレンジ・アジア・パワード・バイAWSの第3ラウンドは26日までに、静岡県の富士スピードウェイで決勝レースが行われ、Dステーション・レーシングは総合10位だった。藤井誠暢がスタートを担当し、星野敏に交代。ピットイン時に破損したパーツの処理でタイムロスしたが、コース復帰後に星野が追い上げた。

レースに参加したDステーション・レーシング

## U15コーチに下山さん就任

### B1サンダーズ

バスケットボール男子Bリーグ1部（B1）の群馬クレインサンダーズは26日までに、Bリーグ3部（B3）のさいたまブロンコスを最後に、今月4日に引退した下山貴裕さん（30）がスクールコーチ兼U15コーチに就任すると発表した。下山さんは青森県出身。関東学院大卒業後、青森、秋田、岩手、三遠、金沢、さいたまでプレーしていた。

## BCLペガサス通信

### 練習生の井口、保科と選手契約

野球の独立リーグ、ルートインBCリーグの群馬ダイヤモンドペガサスは26日までに、練習生の井口竜気投手（25）と保科圭伸外野手（23）と選手契約を結んだと発表した。

福岡県出身の井口は2日に練習生となっていたが、再び選手契約を結んだ。今季は開幕投手を務め、12試合で1勝、防御率は3・75。東京都出身の保科は、社会人野球のエイジェック（栃木）から今季、練習生として加入。1試合に出場している。西浜勇星（19）、深沢恒平（24）の両投手は練習生となった。

茨城 4―0 栃木（26日・牛久運動公園）

## 14歳以下で山本が優勝

### 関東ジュニアテニス女子単

テニスの関東ジュニア選手権は26日までに、千葉県白子町のアポロコーストテニスクラブで男女の14歳以下シングルス決勝を行い、女子は山本晄（MAT Tennis Academy、前橋木瀬中）が2―0で布川優（神奈川・大磯テニスアカデミー）を破って優勝した。

14歳以下で優勝した山本（MAT Tennis Academy）

## ザスパだより

### J3松本からFW鈴木加入

鈴木　国友
© MONTEDIO YAMAGATA

J2ザスパクサツ群馬は26日、J3松本のFW鈴木国友（27）が来年1月までの期限付き移籍で加入すると発表した。松本との公式戦には出場できない。

鈴木は186センチの長身を生かしたプレーを得意とするストライカー。桐蔭横浜大から湘南に加入し、鳥取、北九州を経て、2021年に松本に完全移籍した。今季はJ2山形に期限付き移籍し、リーグ戦13試合で1得点。J通算では113試合に出場し16得点。

すでにチームに合流しており、選手登録が完了次第、出場可能となる。クラブを通じ、鈴木は「1日でも早くチームに貢献できるよう努力する」とコメントした。背番号は40。

### トップチーム新たに2人陽性　計4人に

J2のザスパクサツ群馬は26日までに、新たにトップチームの選手2人が新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受けたと発表した。19、21日にも選手の陽性判定を発表しており、計4人となった。

新たに陽性判定を受けた選手の1人は、22日に発熱し、24日にPCR検査で陽性が確認された。もう1人は、23日に体調不良で抗原検査を受け、陽性となった。2人とも、22日までチームの活動に参加していた。

### ミナカミ今季5度目の優勝

3人制バスケプロリーグ

バスケットボール3人制プロリーグ「3X3.EXE PREMIER JAPAN 2022」は26日までに、岡山市のイオンモール岡山でセントラルメインアイランドカンファレンスの第6ラウンドを行い、みなかみ町を拠点とする「MINAKAMI TOWN.EXE」が今季5度目の優勝を飾った。

現在、同カンファレンスで首位のミナカミは、2ラウンドを残して、プレーオフ進出が確実となっている。第7ラウンドは8月7日に山口県宇部市で、第8ラウンドは9月4日には高崎市のアムールタウン高崎で予定されている。

## 頂点目指し748人熱戦

県知事杯の上位入賞者

### 県知事杯グラウンド・ゴルフ

県グラウンド・ゴルフ協会の第6回群馬県知事杯交流大会が25日、前橋市のALSOKぐんまふれあいグラウンドで開かれ、748人が熱戦を繰り広げた。大会は新型コロナウイルスへの感染防止のための自粛期間を経て3年ぶりの開催。猛暑による熱中症が懸念されたため、通常よりも短いと2ラウンドで争った。

入賞者は次の通り。

▽男子　①石井隆（渋川）26②福島俊充（太田）29③村上敏夫（藪塚）30④小野瀬一男（高崎）30⑤富所健治（はにわ）30⑥土屋澄男（同）30⑦富所健治（高崎）31⑧吉沢富三夫（前橋）31⑨藤田勇（同）31⑩安藤保（高崎）31

▽女子①坂本美子（藤岡）25②長谷部恵美子（桐生）29③山田利子（渋川）30④森田禎子（はにわ）31⑤吉沢美代子（境）32⑥斉藤睦子（伊勢崎）32⑦亀ケ沢くにえ（宝泉）32⑧矢野信子（安中）33⑨日戸和子（同）33⑩女屋博子（東前橋）33

※大会は8ホール、2ラウンド計16ホールで実施。同打数順位は最少打数の多い順などによる。

### Sエンドレス準決勝に進出

県壮年軟式野球

軟式野球の第63回県壮年大会（県野球連盟、上毛新聞社主催）は26日までに、安中市の西毛総合運動公園野球場などで2回戦8試合と準々決勝4試合を行い、Sエンドレス（藤岡）、富士精螺壮年クラブ（伊勢崎）などが準決勝に駒を進めた。

▽2回戦
ゲッツアミーゴ（前橋）100 003 ×4
フェローズ（前橋）
【ゲ】尾崎―須藤【フ】関口―金井▽三塁打　糀沢（フ）▽二塁打　桜井、箱田（ゲ）阿久津、奥山（フ）
ワイ・エレクトリック壮年（太田）200 000 013
末広クラブ壮年（富岡）010 000 011
【フ】伏島―島田【末】小間―浅川
オールスターズ（館林）001 000 021
桐生市役所壮年（桐生）000 200 ×2
【オ】飯田―宮崎【桐】萩原―今泉▽三塁打　森下（桐）
桐生サーティーシックス壮年（桐生）210 010 105
000 604 ×10
富士精螺壮年クラブ（伊勢崎）
【桐】設楽―高岡【富】清水―岩丸▽三塁打　内池（桐）▽二塁打　女屋、内池（桐）
Sエンドレス（藤岡）422 112 14
440 111 0 11
草津野球クラブ壮年（吾妻）
（六回時間切れ、延長七回、七回からタイブレーク）
【S】仲沢―渡辺俊【草】市川洋、広上、市川洋、小野―本多▽本塁打　渡辺俊（S）市川匠（草）▽二塁打　渡辺俊（S）▽三塁打　渡辺俊、殿木、太田3、篠原（S）本多（草）
富岡レジェンド倶楽部（富岡）100 000 001
000 000 ×1
新田球友壮年（太田）001 240 ×7
【富】神戸貴―織茂、坂―白石【新】土岐―細田▽本塁打　神沢（富）▽三塁打　土岐（新）▽二塁打　神戸貴（富）細田、福島、中村（新）
フレックス（館林）000 000 001
100 104 2×8
フォーティーファイバーズ（推薦・高崎）
【フレ】中村、近江―佐藤、金子兵【フォ】中島―関本、一場▽三塁打　茂木（フォ）
ジャンプスポーツクラブ（高崎）000 620 412
200 102 05
ラガマフィンズ壮年（伊勢崎）
【ジ】新井―戸塚、下田【ラ】板橋、柳沢、吉田―柳沢、板橋▽本塁打　深沢（ジ）▽三塁打　中曽根（ジ）▽二塁打　新井2、木村、斉木（ジ）高井、星野（ラ）
▽3回戦
フェローズ　000 510 006
ワイ・エレクトリック壮年　000 300 03
【フ】大崎―倉井【ワ】清水、田端、伏島―島田▽三塁打　糀沢（フ）▽二塁打　熊田（フ）
桐生市役所壮年　100 200 03
040 010 ×5
富士精螺壮年クラブ
【桐】萩原―梅村【富】亀井学―岩丸▽二塁打　森下（桐）島田（富）
Sエンドレス　301 002 028
新田球友壮年　003 003 017
（延長八回、八回からタイブレーク）
【S】仲沢、尾池―渡辺俊【新】小泉、土岐、細田▽本塁打　武井、田沼（S）▽三塁打　神保（S）藤井、高橋良（新）▽二塁打　木（S）土岐、高橋功（新）
フォーティーファイバーズ　100 016 08
000 003 03
ジャンプスポーツクラブ
【フ】船津、豊田―一場【ジ】新井―戸塚▽本塁打　一場（フ）▽二塁打　奥野、四十万2（フ）谷口（ジ）

## 大胡（前橋）優勝

### 県クイーンズゲートボール

第33回県クイーンズゲートボール選手権大会（県ゲートボール協会、上毛新聞社主催）が24日、前橋市総社町の市設ゲートボール場「幸始園」で行われ、決勝で大胡（前橋）が15―11で高崎清風（高崎）を破り、優勝した。

県内各支部の代表17チームが参加した。

第38回全日本選手権大会県予選会も6チームが参加して開かれ、真壁美保（渋川）が優勝、全日本選手権大会（10月15・16日、福井県）に出場する。1チーム（5人）の平均年齢が80歳以上の第18回スーパーシニア大会も行われ、高榛（高崎）が参加5チームの頂点に立った。

成績は次の通り。

【クイーンズ大会】▽決勝トーナメント▽1回戦
ふれあい会（沼田）16―14 太田金山（太田）
高崎清風（高崎）12―11 川田（沼田）
ひまわり（前橋）17―15 安中（安中）
大胡（前橋）20―7 あじさい（高崎）
▽準決勝
高崎清風 21―9 ふれあい会
大胡 16―7 ひまわり
▽決勝
大胡 15―11 高崎清風
①大胡（主将・武田たえ子、楠元タエ子、黒沢サチ子、富田幸子、大沢よし江）②高崎清風③ひまわり、ふれあい会
【全日本選手権大会県予選会】①真壁美保（渋川　主将・木暮幸樹、小林道夫、萩原重男、梅沢博、木暮順三）②真田丸（混合）
【スーパーシニア大会】①高榛（高崎　主将・大熊末司、黛勲夫、植杉里志、岡田三郎、上野勝）②なかよし会（高山）

クイーンズ優勝の大胡
クイーンズ準優勝の高崎清風
クイーンズ3位のひまわり
全日本県予選優勝の真壁美保
スーパーシニア優勝の高榛
クイーンズ3位のふれあい会